

NIIGATA EAST PORT

にい

がた

ひがし

こう

新潟東港と

わたし

私たちの暮らし



みどりまる ともだち
緑丸の友達
はなちゃん



みどりまる しゅじんさま
緑丸のご主人様
ゆり わか だい じん
百合若大臣

まち
町のイメージ
キャラクター

みどり まる

緑丸



私たちの暮らしを支えるみなと

日本は世界のたくさんの国々と品物のやり取りをする
世界有数の貿易大国です！

貿易とは…外国と商品などの売り買いをすること。
また、自分の国の商品を外国へ売ることを輸出、外国の商品を買うことを輸入という。



周りが海で囲まれている日本では、
世界の国々との品物のやり取りのほとんどを船で運んでいるよ！



資料：SHIPPING NOW2024-2025 公益財団法人日本海事センター



船は一度にたくさんの貨物を
運ぶことができるよ！
船で運ぶにはみなとも必要だから、
船とみなとは重要な役割を
担っているよ！



食料の
62% は
外国からの輸入
米、小麦、大豆、果実、
野菜、魚介類など…

資料：農林水産省 日本の食料自給率(2023年度)

食料自給率 (カロリーベース)

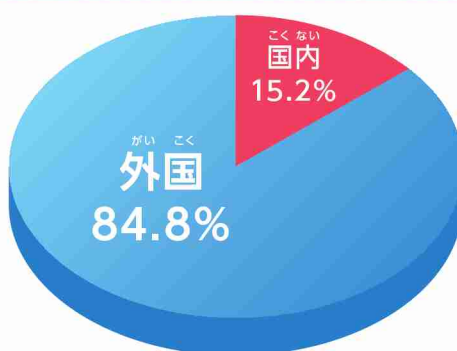
自給とは…必要な物資をほかに頼ることなく、自力でまかなうこと。



エネルギーの
84.8% は
外国からの輸入
石炭、石油、
天然ガスなど…

資料：経済産業省資源エネルギー庁
2023年度エネルギー需給実績

エネルギー自給率



なるほど！
みなとを通じて
いろいろな品物が
私たちのところに
届いているんだね。



みなとの役割

私たちの暮らしを支える
みなとの役割や、
みなとの施設について
紹介するね。



地域や国の玄関

様々な国や地域を結び、物や人を運
びます。



産業が栄える場所

みなとにはたくさんの貨物が運ばれ
るため、様々な産業が栄えます。



自然災害から暮らしを守る

台風や冬の荒波などから人々を守り
ます。



人々が集う場所

地域の人たちが集まり楽しむ、いい
の場や街のシンボルです。



自然環境を守る

海浜公園や緑地など、自然を守り親し
める場所となっています。

みなとの施設



① 防波堤

沖からの荒波を防ぎ、安全に貨物の積み降ろし
しや人の乗り降りが出来るよう港内を守る施
設。

② 航路

船が安全に航行できるように整えられた海
の道路。ちなみに船は右側通行。

③ 泊地

船が安全に停泊できる場所。(海面)

④ 岸壁

船を陸につなぎとめる施設。貨物の積み降ろし
や人が乗り降りする場所。

⑤ 荷さばき地

貨物を船から積み降ろしするための整理場所。

⑥ ガントリークレーン

コンテナ貨物を積み降ろしする専用のクレーン。

みなとって
いろいろな施設で
成り立っているんだね。
どれもみなとには
欠かせないものなんだね。



新潟港について調べてみよう！



新潟西港



新潟西港は、平安時代から色々な物を生産地から集めて消費地へ送り出す集散地であり、歴史の古いみなとです。信濃川の河口部に位置し、人や物が行き交うみなとで、定期フェリーが佐渡島や北海道などと結んでいます。周りには、国際会議場を備えた朱鷺メッセをはじめ、万代島多目的広場やピアBandaiなどもあり、たくさんの人が集う「みなとまち新潟」の顔としてますますの発展が期待されています。

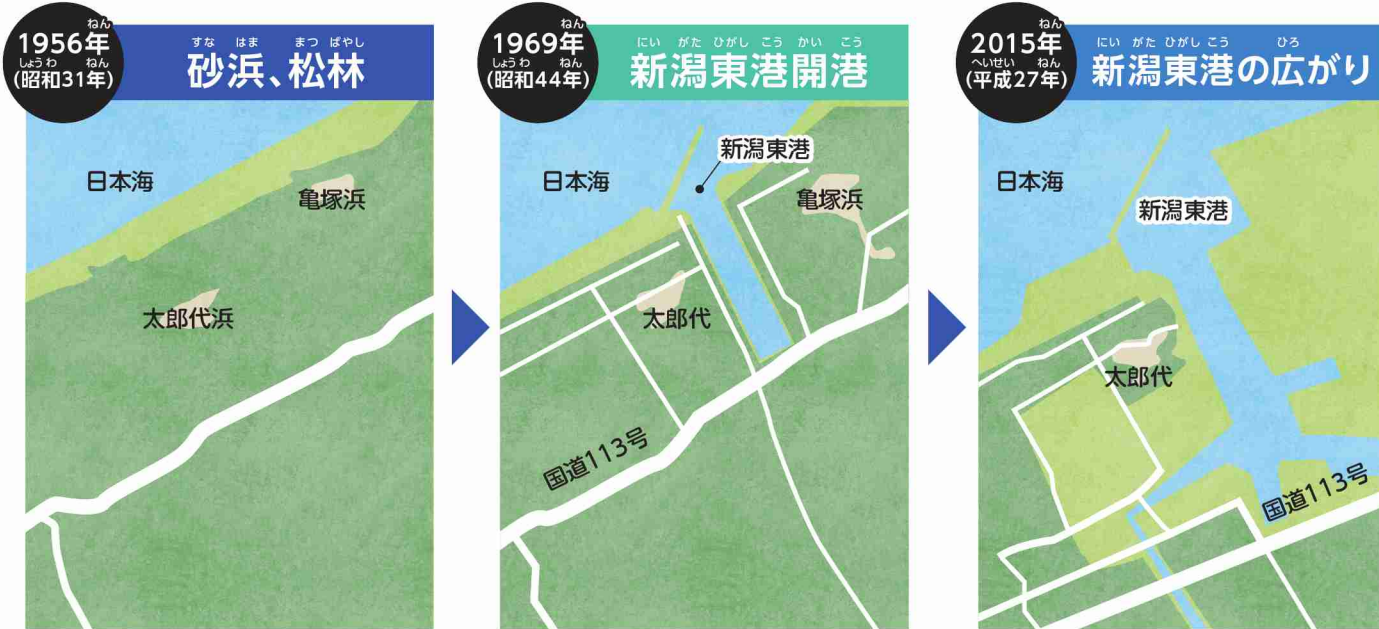
新潟東港



新潟東港は、工業開発の拠点として整備された新しいみなとです。LNG（液化天然ガス）船や木材チップ船、コンテナ船など、世界各国からたくさんの貨物船がやってくる物流のみなとで、日本海側最大規模の国際コンテナターミナルがあります。周りには、国内有数のLNGを主燃料とした火力発電所をはじめ、石油やLNGの基地もあり、日本海側最大のエネルギー供給基地としての役割も果たしています。

新潟東港ができるまで

新潟西港は信濃川の河口を利用してみなとにしたために上流から流れてくる砂がたまりやすく、船が安全に出入港するため砂を取る作業がたえず行われています。みなとの周りには家や倉庫など、多くの建物が建っており、新たに工場等を建てる場所が無かったため、1963（昭和38）年ころから新潟東港の開発が進められてきました。新潟東港は広大な砂浜を掘り込んで造られたみなとです。



しかし、建設予定地には聖籠町の人々が住んでいる集落がいくつかあり、集落ごと他の土地へ移転しなければならないという出来事もありました。1969（昭和44）年11月、新潟東港は東港工業地帯の中心的な役割を担って開港*しました。 ※開港：外国との貿易が正式にできるようになること。



掘り込んだ時に発生した土砂は、新潟東港の埋立地や高速道路の盛土材料として使われているよ！

へえ～！掘り込んだ時の土砂も有効に使われているんだね！



新潟東港を造っている時の様子

1964年（昭和39年）

工事着工する前の掘り込み地点付近



資料：新潟地区 新産業都市のあゆみ 1970

掘り込まれる以前の新潟東港。移転する前の亀塚浜はこの場所にありました。

見渡す限り砂浜が続いているんだよ。



1967年（昭和42年）

掘り込みが進む東港地区



資料：新潟東港整備事業計画 昭和43年度

掘り込み作業が進んだ1967（昭和42）年の東港。この年に新潟港は法律によって「特定重要港湾*（現：国際拠点港湾）」に指定されています。

*特定重要港湾：国際海上輸送網の拠点として特に重要な役割を果たすみなととして政令により定められています。

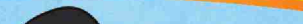
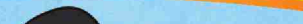
1969年（昭和44年）11月19日

新潟東港が開港



1963（昭和38）年から建設していた新潟東港が開港。その後も、みなとの機能整備が進められています。

資料：新潟地区 新産業都市のあゆみ 1970



新潟東港で取り扱う主な貨物

新潟東港ではいろいろな貨物を取り扱っているんだ！
どれも僕らの暮らしには欠かせないものなんだよ！



LNG (液化天然ガス)

LNGとは天然ガスを -162°C に冷却し、液体にしたエネルギー資源です。火力発電の燃料として使われているほか、都市ガスとしてパイプラインや鉄道貨車、タンクローリーで県外にも運ばれています。



運ばれてきたLNGを貯蔵するタンク

LNGを運ぶ船は、全長約300m、総トン数10万トンもある大型貨物船です。

コンテナ

コンテナとは貨物を入れる大きな箱です。形や大きさの違う貨物を一度にたくさん入れて運ぶことができます。代表的なコンテナ(20フィート)の大きさは、長さ約6m×高さ約2.6m×幅約2.4mです。新潟東港では日用雑貨品や紙製品をはじめ、いろいろな貨物が扱われています。



— 中身の一例 —



ガラボックス

ぐんて

ビス

木材チップ

チップは木材を細かく砕いたものです。木材チップは全長210m、総トン数4万9,000トンもある大型の貨物船で新潟東港に運ばれます。木材チップを薬品でほぐし、樹脂を取り除いたものを化学パルプといい、パルプを用いて様々な紙が造られています。



木材チップを船から降ろす作業の様子

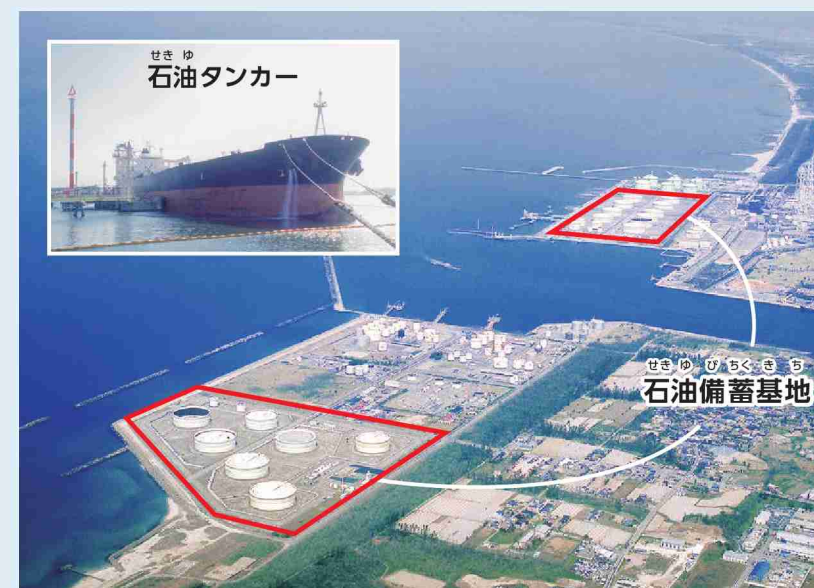
木材チップをパルプに加工して、紙の製品をつくる



製品化された出荷前の紙

石油

大切なエネルギー資源の「石油」は、国内では生産される量がごくわずかなため、外国から輸入されます。国際的な問題や自然災害が発生した場合などに対応するため、石油を蓄える基地が国内の重要な場所に設けられています。



石油タンカー

石油備蓄基地

なるほど！
新潟東港では私たちの暮らしにとても大切な貨物を扱っているんだね！





新潟東港に行ってみよう!!

新潟東港の周辺では、たくさんの人が集まって交流できるように、
いろいろな「にぎわい空間」を提供しています!

網代浜海水浴場

網代浜海水浴場は、海水浴場として利用ができるほか、さまざまなイベントを開催しています。

例年8月に開催される聖籠夏まつりでは、キッチンカーの出店、海上大花火の打ち上げを行っています。また10月頃には、日本海側ではめずらしい町主催のサーフィン大会を開催しています。

にぎわう網代浜海水浴場と海上大花火



釣り場開放防波堤

釣り場として開放している新潟東港第2東防波堤は、「みなとオアシス聖籠」に登録されている施設です。

釣り具のレンタルもあり、ライフジャケット装着などの安全対策も行われており、初心者の方や家族連れでも安心して釣りを楽しむことができます。

大物釣りに最適な釣り場



聖籠町海のにぎわい館



聖籠町海のにぎわい館は「みなとオアシス聖籠」の代表施設であり、海洋レクリエーションを通じて地域の活性化と観光の振興を目的として建設されました。
無料休憩室やシャワールームなどのほか、会議室も備え、快適な空間を提供しています。

快適な空間を提供する海のにぎわい館



【写真提供】

国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
日本海エル・エヌ・ジー株式会社/北越コーポレーション株式会社
株式会社新潟国際貿易ターミナル/株式会社コメリ
新潟石油共同備蓄株式会社

お問い合わせ

聖籠町役場 東港振興室
〒957-0192
新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山 1635-4

TEL 0254-27-2111 (代表)

FAX 0254-27-2119

E-mail higasiko@town.seiro.niigata.jp



〈新潟港の紹介〉

